

令和3年度の取り組み状況

①「下津蔵出しみかんシステム」ホームページ新設

市ホームページ内の複数のページにわたって掲載していた情報を集約し、わかりやすく魅力が伝わるホームページを作成（令和4年1月公開）

日本農業遺産PR動画

イベント等の最新情報を発信
(Facebook等のSNSを活用)



②世界農業遺産等専門家会議委員による現地調査（令和3年6月30日）

世界農業遺産審査員を務める東京大学 八木信行教授に現地調査をいただき、世界の視点から世界申請を目指す上でのご意見をいただく。



橋本神社



下津町小畑 みかん無農薬園地



下津町橋本 みかん園地



下津町小松原 みかん貯蔵庫

③市内小学校への出前講座

みかん・お菓子に関する伝統文化の理解を深め、地元への誇りと愛着を育むため、市内の小学校において出前講座を開催

実施期間：令和3年8月25日（水）～11月11日（木）

実施箇所：市内全12小学校



④石垣積み講習会（JAながみねと共同開催） 参加者約30名

令和3年9月17日（金） JAながみね下津宮農生活センター東側園地



⑤PR看板の設置

・JAながみね しもつ支店

国道42号線を利用する方に広く周知するため、日本農業遺産「下津蔵出しみかんシステム」の看板を設置（令和3年10月設置）

JAながみね しもつ支店前
(4.3m×0.7m)



⑥雑誌への掲載

- ・農産物を買 Walker 2021（令和3年10月5日発行）

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「日本の大事な農産物を救いたい」をコンセプトに全国各地の農産物を紹介

- ・一個人 2021 秋号（令和3年10月1日発行）

「郷土の歴史と文化を愉しむ、伝える」ことを目的に、ふるさと遺産特集として歴史・伝統芸能・ものづくりを紹介



⑦紀の国わかやま文化祭 2021 開会式での資料・ジュースの配布

紀の国わかやま文化祭 2021（開催期間：令和3年10月30日～11月21日）の開会式において、参加者に日本農業遺産認定地域（下津、みなべ・田辺、有田、高野・花園・清水）の資料と蔵出しみかんジュース（200ml）を無料配布

日時：令和3年10月30日（土） 15：00～

場所：和歌山ビッグホエール



⑧野村証券株式会社 和歌山支店の店頭ショーウィンドウでのPR

海南市が「みかん・お菓子発祥の地」であることを広く周知するため、パネルやのぼり海南市PRキャラクター「海ニャン」の法被やぬいぐるみ等を展示

展示期間：令和3年11月1日（月）～11月30日（火）



⑨イオンモール和歌山でのPR

イオンモール和歌山にて、日本農業遺産「下津蔵出しみかんシステム」のパネル、のぼり、法被等を展示

展示期間：令和3年11月16日（火）～11月19日（金）



⑩パンフレットの作成

パンフレットを刷新（2種類）



表面



裏面



表面



裏面

⑪ロゴマークの活用

- ・ロゴマークの意味

みかん、びわ、キウイフルーツなどの海南市下津町で栽培されている多様な果樹を表現し、背景には、段々畑、下津の山並み、加茂川から注ぎ込む海、その恵み、みかん園内に建てられた土壁の蔵など、「下津蔵出しみかんシステム」を構成する要素を表現しています。

- ・ロゴマーク使用申請状況（令和4年3月末時点）

申請件数：14件

申請者：JAながみね下津柑橘部会、個人選果場 など

使 途：段ボール・名刺・シール等への印字、ホームページへの掲載 など



⑫しもつみかんキャンペーン

コロナ禍により市場への訪問は出来ませんでしたが、ビデオメッセージ（市長・岡畑会長挨拶、日本農業遺産 PR 動画）という形で、大阪、兵庫、京都、東京、新潟、仙台、北海道の市場においてPRを実施しました。

